

平成28年12月議会 市長提案説明

先ほどは、平成27年度各会計の決算を御認定いただきまして厚くお礼を申し上げます。

国においては、去る10月11日に「未来への投資を実現する経済対策」を盛り込んだ本年度の第2次補正予算が成立しました。

この補正予算は、一般会計の歳出規模4兆1,143億円で「一億総活躍社会の実現の加速」や「21世紀型のインフラ整備」「英国のEU離脱に伴う不安定性などのリスク対応並びに中小企業・小規模事業者及び地方の支援」「熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化」などの内容を含んでおり、本市としましても、適切な対応を進めてまいりたいと考えております。

さて、本市は10月19日に発表されました「地域ブランド調査2016の魅力度市区町村ランキング」において全国1,000市区町村の中で19位、中四国地方では最上位となることができました。

これは市民の皆様と共に取り組んできたこれまでの町づくりが一つの成果として現れたものであり、大変喜ばしく感じているところでございます。

また、一昨年に引き続き10月30日に開催しました「サイクリングしまなみ2016」では、国内47すべての都道府県や、国外9の国・地域から3,500名を超える方々に参加いただき、世界に誇れる瀬戸内海の魅力や、しまなみ海道サイクリングの素晴らしさを、広く発信することができました。

今後とも、国・県と連携しながら、尾道市の魅力を広く国内外に向けて、発信し、交流人口の拡大に取り組んでまいります。

今議会へは、人口減少、少子・高齢化の進展等に対応し、市民の願いを実現した持続可能なまちづくりの方向を指し示す新しい総合計画を策定するため、基本構想を上程させていただいております。

この基本構想におきましては、まちづくりの考え方を示すキャッチフレーズを「高める『尾道オリジナル』」とし、独創的なまちづくりを展開していくこととしております。

また、都市像を「元気あふれ人がつながり安心して暮らせる～誇れるまち『尾道』～」と設定し、その実現に向けて取り組んでいくこととしておりますので、ご審議いただきますようお願いいたします。

それでは、補正予算案をはじめ、諸案件を提案するに当たりまして、総体的な説明を申し上げます。

一般会計の補正予算案についてでございますが、福祉関係では、国の補正予算に係る臨時福祉給付金給付事業費や自立支援給付費、老人保護措置費の追加、認可外保育施設の認可化を支援する認可化移行総合支援事業費や母子生活支援施設措置委託料、母子・父子自立支援費、私立の認定こども園整備事業への補助金などをお願いしております。

また、国の補正予算を活用した県事業である瀬戸田地域漁礁整備事業や御調河内地区ほ場整備事業への負担金の追加や 6 月の豪雨災害に係る小規模崩壊地復旧事業費、因島地域遊歩道等整備事業費の追加をお願いしております。

加えて、文化財保存修理に対する補助金や消防団員への火災時等の出動費用弁償の追加、前年度剰余金の財政調整基金への積立金の追加などを計上しております。

なお、繰越明許費（くりこしめいきよひ）につきましては、2 件の追加を、債務負担行為につきましては、10 件の追加をお願いしております。

次に、特別会計でございますが、港湾事業特別会計、及び国民健康保険事業特別会計、介護保険事業会計において、それぞれの会計における前年度剰余金の処理などをお願いしております。

このほか、病院事業会計の補正予算案及び、因島福祉センターなどの「工事請負契約の締結について」や因島アメニティプールに係る「公の施設の指定管理者の指定について」の議案などのご審議をお願いしております。

また、本日追加で送付いたしました、職員給与等に関する条例案及び、補正予算案なども併せて提案しております。

詳細につきましては、それぞれ担当部局長から説明させますので、よろしくご審議の上、ご議決いただきますようお願いを申し上げまして、総体的な説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

※本文は、口述筆記ではありませんので、表現などについて、実際の説明と若干異なることがあります。